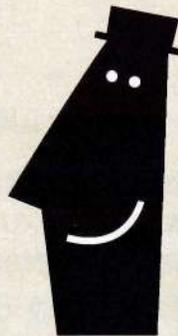
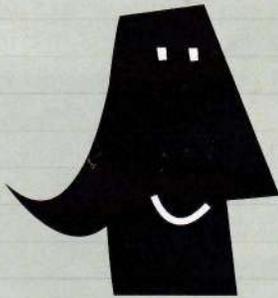
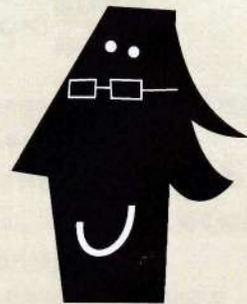


## 第25回



# 清水東高関東地区同窓会



今回の同窓会のテーマは  
「みんなでつくる、みんなでつながる」  
この会が年齢や職種を超えた  
新しい出会いを生み、ネットワークを広げる  
きっかけになればと願っています。

2012年6月23日(土) 16:00~20:00

東京都港区高輪 3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F ガーデンシティ品川「ネクサス」

幹事 第27期生(昭和50年卒業)

## 第 25 回 清水東高 関東地区同窓会 式次第

### 第一部 総会 16:00~16:30

開会の辞	山崎 廉太郎 事務局長 (20 期)
会長挨拶	山下一平 関東地区同窓会 会長 (21 期)
懸案事項審議	山崎 廉太郎 事務局長 (20 期)
会計報告	福嶋 修 会計役員 (19 期)
監査報告	木内 正毅 監事 (13 期) / 小川幸子 監事 (20 期)
閉会の辞	山崎 廉太郎 事務局長 (20 期)

### 第二部 講演会 16:30~17:30 テーマ「次世代を担う若者へのメッセージ」

基調講演	曾我 弘 (6 期)
コメンテータ	竹内 宏 (中 21 期)
モデレータ	橋本 正洋 (27 期)

### 休憩 17:30~18:00

### 第三部 懇親会 18:00~20:00

開会挨拶・乾杯	山下一平 関東地区同窓会 会長 (21 期)
来賓挨拶	植松 豊 清水東高校長
来賓挨拶	中澤 通訓 同窓会 会長 (15 期)
仙台からのメッセージ	山口 正洋 東北大学教授 (27 期)
音楽イベント「ありがとう!愛!」	歌:板倉 恵三子 (16 期) ピアノ:伊藤昌司
クイズ みんなで東高検定 「あなたに母校への、清水への愛はあるか!」	(豪華賞品をお楽しみに!)
東高なんでも通信 「あなたのニュースを共有します」	
次年度幹事紹介	杉本 信策 2013 年幹事代表 (28 期)
校歌(連歌)斉唱	指揮:酒井治人 (27 期)
閉会挨拶	北川 裕隆 2012 年幹事代表 (27 期)

### 二次会 ガーデンシティ品川「グリーンウィンド」 20:00~22:00 友達の輪を広げましょう!

司会 井出 方明 (27 期) / 榎戸 教子 (48 期)

演奏協力 ドラム:八木 馨一郎 (25 期) トランペット:大内 晃 (27 期) ベース:中野利彰 ピアノ:堀井 純 他

## 講演会 登壇者のご紹介

### 基調講演 「次世代を担う若者へのメッセージ」



#### 曾我 弘氏 Vision Booster, LLC. CEO

1954年清水東高卒（6期）、1958年静岡大学工学部卒、東京大学より工学博士授与。  
1960年日本電子から（株）八幡製鉄所に入社。新日鉄研究本部計測制御センター所長を経て  
1985年から新日鉄エレクトロニクス事業部。数社の米国企業とのジョイントベンチャー設立、  
事業化を担当。1991年 Silicon Valley に移住し、画像圧縮技術開発のベンチャー企業  
Eidesign Technologies, Inc. を設立。  
1994年同社売却後、1996年秋に Silicon Valley にて Spruce Technologies, Inc. を設立。  
革新的な DVD オーサリング（DVD 編集）システムを開発・商品化し、その Flagship 商品  
「DVD Maestro」はハリウッドでのデファクト標準になり、2001年6月 Apple Computer へ売却。  
その後、日本人起業家を支援し Improvista Interactive Music, Inc.、Riott, Inc. 等を起業。  
同時に SVJEN（日本人起業家支援組織 NPO）を設立、日本人起業家を支援。  
2008年 Vision Booster, LLC. を設立しバイオ関連ビジネスや日米のスタートアップ起業の  
メンター活動を続け、2010年末に帰国。帰国後すぐに日本のスタートアップと日米間の  
Open Innovation を目指し活動を開始。現在、東北大学金属材料研究所に非常勤研究員で勤務し、  
大学発の新技术の事業化プロジェクトを推進中。  
著書「シリコンバレー流起業入門」（能登左知氏と共著）2011年 同友館



#### コメンテータ

#### 竹内 宏氏 静岡県立大学グローバル地域センター センター長・特任教授

1951年清水東高卒（中21期）、1954年東京大学経済学部卒。  
1954年日本長期信用銀行入行。1984年（財）静岡総合研究機構理事長。  
1988年日本長期信用銀行専務取締役・調査部部長。1989年長銀総合研究所理事長。  
同年竹内経済工房設立。2002年価値総合研究所特別顧問。2011年静岡県立大学法人理事長。  
2012年4月より現職。  
この間、学習院大学講師、東京大学講師、静岡文化芸術大学特任教授等を兼務。上海師範大学名誉教授。  
著書「柔構造の日本経済」1978年 日本経済新聞社、「路地裏の経済学」1979年 朝日新聞社、  
「エコノミストたちの栄光と挫折」2008年 東洋経済新報社、ほか多数



#### モデレータ

#### 橋本（時田）正洋氏 経済産業省特許庁審査業務部長

1975年清水東高卒（27期）、1980年東京工業大学工学部卒、1982年同大学院修士課程修了、  
2008年東京大学大学院工学系研究科後期博士課程修了、博士（工学）。  
1982年通商産業省（現経済産業省）入省。基礎産業局、機械情報産業局、資源エネルギー庁等を経て  
1998年 JETRO ジュネーブ事務所出向、2002年大学連携推進課長、2004年サービス産業課長、  
2006年 NEDO 出向（企画調整部長）、2009年より現職。





ありがとう!愛!

## プロフィール

静岡県立清水東高等学校を経て、お茶の水女子大学音楽科卒業。  
「美しき日本の子守歌」(日本コロムビア)レコーディング。  
'90年 名古屋二期会のミュージカル「オバケちゃん今晚は」で  
主役マーニー・ニクソンを演じ脚光をあびる。  
'97年より自ら手話をしながら歌うリサイタルを各地で開催し、  
「共に生きる」というメッセージが聴衆に感動を与えた。  
ジャンルにとられない圧倒的なレパートリーを持ち、数多くの  
演奏会・オペラ・ミュージカル・ディナーショーに出演。  
彼女のためのオリジナル作品「1963-ピアフのいた秋」  
(ピアノ&アレンジ:伊藤昌司 台本:麻創けい子)はすでに8回  
の公演を重ねており、「ソング・レター 母へ贈る七通の手紙」は  
それに続くオリジナル作品で、'03静岡で初演後、'04に名古屋で  
'08には安城で再演した。'12の静岡が8回目の公演となる。

## CDリリース

「愛」の贈り物  
「1963-ピアフのいた秋」  
「ソング・レター 母へ贈る七通の手紙」  
「河村横太郎先生、ありがとう!コンサート」  
「歌の天使に抱かれて!板倉歌奈子ファーストアルバム」  
合唱団「ピリカ会」「混声合唱団コーロ・カンタトーレ」指揮者。

## 板倉恵三子

山あり、谷あり、嵐ありと、  
本当に色々あって面白い人生を生きています。

今も、「今日が好き!」

そして、明日にも希望を抱いて生きています。

何が起こるのだろうと、期待して、今日を生きています。

「歌」より愛おしい主人と出会い、

私が「歌わなくてもいい。この人のために生きていこう!」

と思って生きてきて、

40歳過ぎてから、再び歌う事が出来るようになりました。

それは主人や娘二人の愛があってこそ!感謝して歌っています。

たくさんの愛を込めて、たくさんの人に生きている喜びを贈りたい!



最初にお聴きしたのは「1963-ピアフのいた秋」

1曲目の「街に歌が流れていた」から、一気に板倉さん演じるピアフワールドに引き込まれます。

透明感のあるどこまでも伸びていく声が1950年代のバリの街に響きわたるよう。

軽快でもあり、重厚でもあり、しあわせいっぱい、そして悲しくおわりをむかえる。

ピアフの波乱万丈の人生を自ら重ねて、板倉さんの魅力があふれ出します。

今年7月1日には、清水で 歌と語りと手話によるライブが予定されています。

「ソングレター母さんへ」は、板倉さんご自身の作曲で、母と娘をつなぐ愛のメッセージが伝わります。

そして、手話で歌う「声のない恋」はあなたの心に聴こえるでしょうか。

きょうは、そんな板倉さんに特別バージョンのミニコンサートをお願いしました。

シャルル・アスナヴールのかっこいいナンバー「思い出をみつめて」を、聴けるかもしれません。

ピアノ伴奏は、いつも息がぴったりの伊藤昌司さんです。

さあ、「ありがとう!愛!」みなさまはどのように感じられるでしょうか?

もっと聴きたいという方は、下記にアクセスしてくださいね。(ファン記)

## 板倉恵三子ホームページ

<http://homepage2.nifty.com/jazzcafelondonhouse/emiko/index2.html>



清水東高等学校校連歌

〔校歌〕

世界の四方に うたはるる  
富士の名山 朝夕に  
眺むる幸に 暖かく  
我が青春の 血ぞおどる

〔烈日〕

見よ暁の 明星を  
仰ぎて歌え 高らかに  
烈日燃えて ふるい立つ  
若人の意思 くろがねぞ  
精銳つどいし 我が母校  
光くまなく 晴れ渡る  
清高 清高

〔白熱の力〕

聞けや我が清高の 雄叫びの声を  
見よや我が清高の 不屈の気色を  
若き心に血を汲みし勝利の杯  
酔うては捧げん波立つまでも

〔紫雲〕

洋雲のぞむ 地の果てに  
芙蓉を抱きて そそり立つ  
清高健児の 熱球に  
大地も崩るる 意気見すや  
清高健児の 熱球に  
大地も崩るる 意気見すや

清水東高校、今回ご協力いただいた企業・個人のホームページやブログです。

〔静岡県立清水東高校〕の公式ホームページ <http://www.wbs.ne.jp/cmt/kiyokou/>

〔東高関東地区同窓会〕のホームページ 現在企画中

〔Facebook 東高関東地区同窓会 2012〕 <http://www.facebook.com/groups/158019800954555/>  
(OB、OGの関東地区での集いをコーディネートするFacebookグループです。本日の写真の閲覧情報もこの中でお知らせします。)

〔曾我弘さん〕のホームページ <http://www.kapion.net/>

〔竹内宏さん〕のホームページ <http://www.takeuchiheizai.jp/>

〔いなば食品〕(27期 稲葉慶太)のホームページ <http://www.inaba-foods.jp/>

三和酒造株式会社〔臥龍梅〕(25期 鈴木克昌)のホームページ <http://www.garyubai.com/>

中村米作商店〔まちこ〕(42期 中村光年)のホームページ <http://www.cha-nakamura.jp/machiko/index.html>

〔板倉恵三子さん〕のホームページ <http://homepage2.nifty.com/jazzcafelondonhouse/emiko/index2.htm>

〔榎戸教子さん〕のブログ <http://curry123.exblog.jp/>

# 清水東高関東地区同窓会

## 第25期決算報告書

下記により清水東高関東地区同窓会第25期決算報告を致します。

1、期間 平成23年4月1日より平成24年3月31日まで

2、決算報告書

項目	収入	支出	残高
(収入)			
前期繰越金	1,255,199		
総会収入	1,136,000		
寄付金・年会費	379,002		
祝儀等	20,000		
利息	73		
収入小計	2,790,274		
(支出)			
総会準備実行費		1,515,498	
東日本大震災見舞金		100,000	
事務局経費		840	
支出小計		1,616,338	
次期繰越金			1,173,936

(単位:円)

役員名簿 (2012年6月23日総会で承認後以降)

名誉会長	竹内 宏	(旧21期)	重任
会長	山下 一平	(21期)	新任
副会長	都築 賢治	(21期)	同 新任
同	杉本 信策	(28期)	同
会計	山本 一志	(24期)	同
監査役	木内 正毅	(13期)	重任
同	小川 幸子	(20期)	同
顧問	木内 義一	(8期)	同
同	岩邊 晃三	(9期)	同
事務局	山崎廉太郎	(20期)	同

平成24年3月31日

会計 福嶋 修

以上

私達は、平成23年4月1日より平成24年3月31日までの決算報告書を監査しました結果、何れも適法、正確であることを認めます。

監事

木内 正毅

小川 幸子

## 清水東高関東地区同窓会会則（改正案）

（改正箇所は下線もしくは取り消し線を示しています）

### 第1章 総 則

- 第1条 本会は、「清水東高関東地区同窓会」と称する。  
第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、且つ、母校の発展に協力することを目的とする。  
第3条 本会は、事務所を東京都（又は関東地区）に置く。

### 第2章 会 員

- 第4条 本会は、静岡県立清水東高等学校（旧制麻原中学、清水中学及び新制清水第1高等学校も含む）出身者で、且つ、関東地区（東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県）に居住し、かつ、本会へ入会する意志を表明したもので組織する。  
また、関東地区以外の居住者であっても、入会を望む場合は、これを受け入れる。  
第5条 会員が退会を望むときは、その旨を届け出る。また、本会則に定める年会費の支払いが3年間ない場合は、その会員は自動的に退会とする。  
第6条 会員は本会が作成、維持する名簿に記載される。

### 第3章 会 議

- 第7条 本会は、毎年1回定期総会を開催する。  
第8条 会長本会は、必要に応じて各役員で構成する役員会を開催する。役員会は基本的な運営方針の策定、見直し及び必要な変更をつかさどる。

### 第4章 役員及び顧問等

- 第9条 本会に次の役員を置く。  
会長 1名 本会を代表し、会務を統括する  
副会長 2～3名 会長の補佐及び代行  
事務局長 1名 本会の庶務事項を管理する  
会計 1名 本会の会計事務を管理する  
監事（監査役） 2名 会計を監査する  
第10条 役員任期は、1年とし、重任を妨げない。  
第11条 ~~会長が事故あるときは、副会長が代行する。~~  
第11条 会長および監査役は総会において正会員の中より選出する。その他の役員は会長が選任する。  
第12条 本会に、顧問をおくことが出来る。尚、顧問は、役員会で選任する。

### 第5章 会 計

- 第13条 会員は、役員会で定める年会費（会維持費）を支払うものとする。  
第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### 第6章 委員会及び部会

- 第15条 役員会の定める基本方針に基づき本会の活動の企画、執行に責任を有する機関として企画運営委員会を設ける。この委員およびその任期は役員会が決定する。  
第16条 企画運営委員会は、必要に応じ、活動を執行する役割を持つ部会を設けることができる。  
この部会員及びその任期は企画運営委員会が決定する。

### 第7章 改 正

- 第17条 この会則は、総会出席者の過半数の議決により改正することが出来る。

### 付 則

- 第1条 この会則は、昭和63年2月19日から施行する。  
第2条 この会則に定めのない事項については、役員会の議決により別に定める。  
以上

改正履歴 平成17年6月18日

平成22年6月19日

平成24年6月23日（予定）